

フリージア



花言葉は「慈愛」



卯年生まれの基本的性格

もの静かで行儀がよく、上品で繊細。一般的に静かで落ち着いた生活を好む。平和主義者で、周りの意見を上手く調停する聞き上手な人が多く、年上の人々に可愛がってもらえる愛嬌があります。

<ご利用案内>

場所:耳鼻咽喉科廊下向かい側

時間:9:00～17:00

利用できる方:

入院・外来患者様に
限らずどなたでも
(職員も利用可)

貸出:お1人5冊、2週間

<巡回図書サービスのご案内>

場所:A棟8階入院病棟

日時:毎週火曜日14:00～14:40

※巡回図書を希望する病棟がございましたら、随時ご連絡下さい。

「患者さま図書室」では、書籍・マンガ等約150冊ブックトラックに乗せて病棟に伺っています。貸出も出来ます。ぜひご利用くださいませ。

新着図書紹介(1)



SPY x FAMILY 1～10巻
遠藤卓也 著

世界各国が水面下で熾烈な情報戦を繰り広げていた時代。東国オスタニアと西国ウェスタリスは、十数年間にわたる冷戦状態にあった。西国の情報局対東課<WISEワイズ>所属である凄腕スパイの<黄昏たそがれ>は、東西平和を脅かす危険人物、東国の国家統一党総裁ドノバン・デズモンドの動向を探るため、ある極秘任務を課せられる。“一週間以内に家族を作り、デズモンドの息子が通う名門校の懇親会に潜入せよ”。<黄昏>は、精神科医ロイド・フォージャーに扮し、家族を作ることに。だが、彼が出会った娘・アーニヤ、妻・ヨルには秘密があった。お互いの正体を隠しながら共に暮らす3人に、ハプニングの連続！仮初めの家族に、世界の平和は託された――。

大人気マンガ『SPY x FAMILY』が、ついに患者さま図書室に登場！入院・外来患者様、そして職員の皆様の貸出をお待ちしています。



ハヤブサ消防団
池井戸潤 著

ミステリ作家vs連続放火犯のどかな集落を揺るがす闘い！東京での暮らしに見切りをつけ、亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで居酒屋を訪れた太郎は、消防団に勧誘される。迷った末に入団を決意した太郎だったが、やがてのどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知る――。連続放火事件に隠された真実とは？



半沢直樹
アルルカンと道化師
池井戸潤 著

東京中央銀行大阪西支店の融資課長・半沢直樹のもとにとある案件が持ち込まれる。大手IT企業ジャッカルが、業績低迷中の美術系出版社・仙波工藝社を買収したいというのだ。大阪営業本部による強引な買収工作に抵抗する半沢だったが、やがて背後にひそむ秘密の存在に気づく。

有名な絵に隠された「謎」を解いたとき、半沢がたどりついた驚愕の真実。

冬が本格的にやって参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか？どうぞ体を冷やさないよう十分お気を付け下さい。さて、今月紹介する新刊図書で、半沢直樹の原作者でもある「池井戸潤さん」の作品を2冊紹介させていただきました。気に入られた方はぜひ図書室までお待ちしております。

「患者さま図書室」司書 大中原笑理



フリージア



花言葉は「慈愛」

<ご利用案内>

場所:耳鼻咽喉科廊下向かい側

時間:9:00～17:00

利用できる方:

入院・外来患者様に
限らずどなたでも
(職員も利用可)

貸出:お1人5冊、2週間



卯年生まれの恋愛運

献身的で恋愛パートナーに尽くすタイプ。争いごとを避け平和で友好的な関係を維持し、お互いを理解し尊重できたり、価値観を共有できるパートナーを理想とする人が多い。ただし、恋愛においても優柔不断な性格が災いとなる可能性があるため、気をつけましょう。

<巡回図書サービスのご案内>

場所:A棟8階入院病棟

日時:毎週火曜日14:00～14:40

※巡回図書を希望する病棟がございましたら、随時ご連絡下さい。

「患者さま図書室」では、書籍・マンガ等約150冊ブックトラックに乗せて病棟に伺っています。貸出も出来ます。ぜひご利用くださいませ。

新着図書紹介(2)



薩摩の秘剣
野太刀自顕流
島津 義秀 著

「薩摩の初太刀をはずせ」と新撰組の近藤勇をも恐れさせた秘剣、「野太刀自顕流」。薩摩には東郷重位を始祖とする「示現流」とは別の、もう一つの「ジゲンリュウ」があった。下級武士たちの実戦剣法として伝えられたその技は、桜田門外の変で井伊直弼の首をはね、生麦事件では馬上のイギリス人の内臓を一刀でえぐり出すほどの威力だった。

本書では、自顕流の歴史、精神、技を、詳しく解説する。



白虎消失
高松塚壁画劣化の真相
大脇和明 著

発見時の鮮やかだった高松塚壁画群が、国宝となり文化庁が管理する間に、カビの大発生、作業時の損傷、そして石室解体へ。壁画劣化は防げなかったのか？古代史ブームを巻き起こした高松塚壁画がたどった道のりを新聞記者が丹念に追ったルポルタージュ。

「世界に例を見ない極上の壁画を後世に残そうと努力を重ね、格闘した担当者たちの苦悩があったことも事実だろう。だからこそ私は、高松塚古墳の壁画はなぜ、「白虎」の描線が消えたり、「飛鳥美人」や「青龍」が黒カビに汚染されたりするほどに劣化したのかを問いたい。」

新年の干支(うさぎ)に関する作品



新訳
ふしぎの国のアリス
ルイス・キャロル 著

アリスは7歳の女の子。野原でうとうとしてたら、懐中時計を持ったおかしなウサギが走ってきた。ウサギを追って、地球をつきぬけるような深～い穴に落ちると、そこはふしぎの国！あまいケーキを食べれば体がのびて、びんの水薬を飲めばちぢんじゃう。涙の海を泳いだり、ドーデー鳥とかげっこしたり、こわいハートの女王様に首を切られそうになったりと、もうめっちゃくちゃ。

51の絵と新訳で名作がうまれかわる。対象学年は小学中級から。



うさぎパン
瀧羽 麻子 著

お嬢様学校育ちの優子は、高校生になって同級生の富田君と大好きなパン屋巡りを始める。継母と暮らす優子と両親が離婚した富田君。二人はお互いへの淡い思い、家族への気持ちを深めていく。そんなある日、優子の前に思いがけない女性が現れ…。

書き下ろし短編「はちみつ」も加えた、ささやかだけれど眩い青春の日々の物語。

いよいよ令和5年1月19日に芥川賞・直木賞の受賞作品の発表がおこなわれます。数多くノミネートされた10作品の中から一体どの作品が芥川賞・直木賞に選出されるのか。楽しみですね！

「患者さま図書室」司書 大中原笑理

